

オートマチック車などの運転



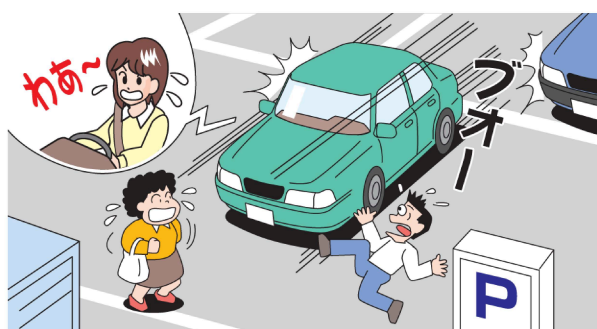
1 オートマチック車の運転

オートマチック車は、マニュアル車と運転の方法が異なるところがあり、それを知らないと思いがけない事故を起こすことがあるので注意しましょう。

1 運転にあたっての心構え

オートマチック車やオートマチック二輪車の運転には、クラッチ操作がいらないので、その分操作の負担が軽減され、運転が楽になります。安易な気持ちで取り扱ってははいけません。

オートマチック車やオートマチック二輪車の運転の基本を理解し、正確に操作することが安全運転のために必要です。



2 四輪車の場合

1 エンジンの始動

- ① エンジンを始動する前に、ブレーキペダルを踏んでその位置を確認し、アクセルペダルの位置を目で見て確認しましょう。
- ② ハンドブレーキがかかっており、チェンジレバーがPの位置にあることを確認したうえで、ブレーキペダルを踏み、エンジンを始動しましょう。

◆チェンジレバーの操作

オートマチック車を運転するときは、チェンジレバーの操作が必要です。

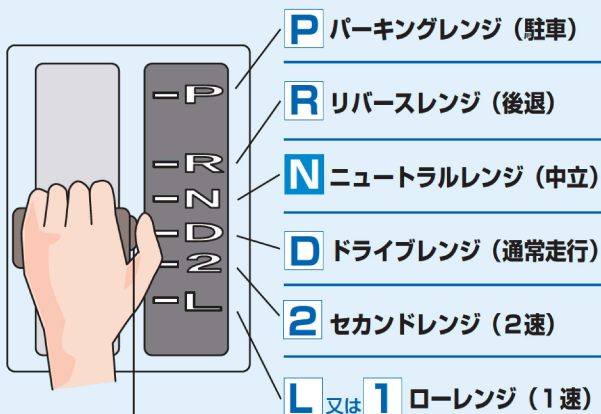
- ① 停止中、チェンジレバーを操作するときは必ずブレーキペダルを踏んで行いましょう。
- ② 前進するときはD・2・L、後退するときはRに入っていることを確認しましょう。

2 発進

以下の順で発進しましょう。

- ① ブレーキペダルをしっかりと踏んだまま、チェンジレバーを前進のときはDに、後退のときはRに入れ、その位置が間違っていないことを目で見て確認します。
- ② ハンドブレーキを戻します。
- ③ ブレーキペダルを徐々に放します。
- ④ アクセルペダルを静かに踏んで発進します。

ブレーキペダルをしっかりと踏んでチェンジレバーを操作しないと、急発進したり、突然後退したりすることがあります。



チェンジレバーボタン

誤った操作によってチェンジレバーの位置が変わるのを防ぐためのボタンです。

なお、エンジン始動直後やエアコン作動時は、エンジンの回転数が高くなり、急発進する危険がありますので、ブレーキペダルを特にしっかりと踏みましょう。

3 交差点などで停止したとき

- ① 停止中は、必ずブレーキペダルをしっかりと踏んでおき、念のためハンドブレーキもかけておきましょう。
- ② 停止時間が長くなりそうなときは、チェンジレバーをNに入れておきましょう。
- ③ ブレーキペダルをしっかりと踏んでおかないと、アクセルペダルを踏まなくても自動車がゆっくり動き出し（クリーブ現象）、追突などの思わぬ事故を起こすことがありますので注意しましょう。

4 坂道を下るとき

長い下り坂や急な下り坂では、チェンジレバーを2かL（または1）に入れ、エンジンブレーキを活用しましょう。長い下り坂で、フットブレーキをひんぱんに使い過ぎると、急にブレーキがきかなくなることがあり危険です。

5 駐車

- ① 駐車の際には、ブレーキペダルを踏んだままハンドブレーキを確実にかけてから、チェンジレバーをPに入れましょう。
- ② 自動車が完全に停止しないうちにチェンジレバーをPに入れるのはやめましょう。

Research

より深く…

「急加速（キックダウン）運転」

上り坂、高速道路の流入、追越などで、加速が必要な場合に、アクセルペダルを強く踏み込むと、自動的にギアが減速され、力強い加速が得られます。

Research

より深く…

「クリーブ現象」

チェンジレバーがPやN以外の位置にあるときは、アクセルを踏まなくても静かに車が動き出します。これを「クリーブ現象」といいます。

エンジンを始動した直後やエアコンの作動時は、エンジンの回転が上がりクリーブ現象が強く働くことがあるので、ブレーキペダルをしっかりと踏んでチェンジレバーを操作しましょう。

Research

より深く…

「エンジンブレーキ」

長い下り坂を下るときに、フットブレーキだけを使いすぎると摩擦熱により、ブレーキパッドやディスクが過熱されフェード現象やベーパー・ロック現象を起こすためブレーキがきかなくなることがあります。

MT車は、比較的エンジンブレーキがききますが、シフトダウンをし、坂の勾配にあわせたギアを選択するようにしましょう。

このとき急速にクラッチを接続したり、速度に対して低すぎるギアを選択すると、急激にエンジンブレーキが作用して車輪がスリップする場合がありますので注意しましょう。

AT車は、エンジンブレーキのききが弱いため、早めにレバーを2かLに入れましょう。

セーフティエチケット

約5割

交通死亡事故は、約5割が夜間に発生しています。

夕方や夜間の運転では、歩行者が運転席から見えにくくなるため事故が発生しやすいのです。特に高齢者は、横断歩道や信号機のない道路を横断していて、事故に遭う場合が多く見られます。

交通社会において、歩行者は弱者です。歩行者を守ろうとする「思いやりのある運転」が、どんなときでも必要です。

3 二輪車の場合

1 発進

クラッチ操作がいらぬ分、スロットル（アクセル）を急に回転させると急発進する危険がありますので注意しましょう。

2 低速で走行するとき

オートマチック二輪車に無段変速装置が採用されている場合、エンジンの回転数が低いときには、車輪にエンジンの力が伝わりにくい特性があります。このため、低速で走行している際にスロットル（アクセル）を完全に戻すと車輪にエンジンの力が伝わらなくなり、安定を失うことがあるので注意しましょう。



2 先進安全自動車（ASV）の運転

先進安全自動車（ASV）は、先進技術を利用して運転者の安全運転を支援するシステムが搭載された自動車ですが、このシステムは、例えば、一定以上の速度で走行している場合には、適切に作動しない場合があるなどの限界があります。自動運行装置とは異なり、運転者が絶えず周囲の状況を確認しながら必要な運転操作を行うことを前提とした運転支援技術ですので、その限界や注意点を正しく理解し、その技術を過信せずに運転しましょう。

Keyword

「先進安全自動車（ASV）」とは、

先進技術を利用して運転者の安全運転を支援するシステムを搭載した自動車をいいます。主な支援システムに、衝突被害軽減ブレーキ、定速走行・車間距離制御システム（ACC）などがあります。

3 自動運転車

自動運転車は、自動運行装置（使用条件内では運転者の操縦に必要な認知、予測、判断及び操作の能力を全て代替する機能を有する装置をいいます。）が搭載された自動車をいいます。

1 運転に当たっての心構え

自動運行装置を使って運転する場合であっても、運転者として責任を持って安全運転をしなければなりません。自動運行装置を使って運転する際には、その自動運行装置の使用条件の内容、性能及び使用方法を正しく理解し、過信せずに適切に使って運転しましょう。

2 使用条件外での自動運行装置を使った運転の禁止

使用条件外では、自動運行装置を使って運転してはいけません。

3 自動運行装置を使って運転する場合の遵守事項

自動運行装置を使って自動車を運転しているときは、自動運行装置から発せられる運転操作の引継ぎ要請や自動運転車の異常を直ちに認知し、かつ、運転操作を引き継ぐことができる状態でいなければなりません。

4 運転操作の引継ぎ

自動運行装置から発せられる運転操作の引継ぎ要請や自動運転車の異常を認知したときは、直ちに周囲の状況を確認して必要な運転操作を始めなければなりません。

5 安全運転を支援するシステムを使った運転

自動運転車は、自動運行装置のほかに運転者の安全運転を支援するシステムを搭載している場合があります。自動運行装置と運転者の安全運転を支援するシステムでは、それぞれ性能、使用方法などが異なります。自動運転車を運転する場合には、作動している装置・システムを常に把握し、過信することなく、適切に運転しましょう。

ためしてみよう!

○×問題

正しいと判断したときは○の欄、まちがっている
と判断したときは×の欄に✓印をつけてください。

問1 オートマチック車は、クラッチ操作がいらないので運転が楽になるが、安易な気持ちで運転してはいけません。

○	×
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

問2 オートマチック車では、エンジンを始動するときは、ハンドブレーキをかけ、チェンジレバーがPの位置にあるかを確認してから、ブレーキペダルを踏んで始動する。

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
--------------------------	--------------------------

問3 停止中に、オートマチック車のチェンジレバーを操作するときは、ブレーキペダルをしっかりと踏んでいないと、急発進や、急後退して危険である。

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
--------------------------	--------------------------

問4 オートマチック車を運転する場合、チェンジレバーの位置を確認し、発進する場合はD、後退であればLに入れ、ブレーキペダルを徐々にはなして走り出すのがよい。

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
--------------------------	--------------------------

問5 オートマチック車は、信号などで長く停止するとき、ブレーキペダルをしっかりと踏んだままチェンジレバーをNの位置にし、ハンドブレーキをかけておくとよい。

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
--------------------------	--------------------------

問6 オートマチック車は、エンジンがかかっている状態で、チェンジレバーがPかNの位置に入っていると、アクセルを踏まなくても車が動き出す。このような現象をクリーブ現象という。

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
--------------------------	--------------------------

問7 オートマチック車で長い下り坂を運転するとき、エンジンブレーキをきかせるよりも、フットブレーキをしっかりと使用するほうがよい。

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
--------------------------	--------------------------

問8 オートマチック二輪車は運転操作が簡単なので、スロットルを急に回転させても急発進することはない。

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
--------------------------	--------------------------